



令和元年度 山形県飯豊少年自然の家 <指定管理者 懶ヤマコー> 所報

ひめさゆり 3月号

〒999-0605 西置賜郡飯豊町大字添川 3535-33 TEL 0238-74-2331 FAX 0238-72-2342

いでの冬 2020

特別な冬…ご利用に感謝!



「第2回親子でチャレンジ」

山形県飯豊少年自然の家 所長 浅井 和
2020年を迎えたこの冬は、稀にみる雪不足となっていました。昨年の所報を見ると、「新春から驚くほど積雪が少なく…」という文章がありましたが、今年はそれ以上の“特別な冬”と言えるのではないのでしょうか。そのため、スノーチューブすべり用の「スノーランド」はオープンすることができず、2月29日(土)と3月1日(日)に計画していたスノーランドファイナルも、残念ながら中止とさせていただきました。

そうした中、なんとか雪が積もり、安全も確保できると判断した数日においては、冒険トンネル付近の傾斜などを利用してチューブすべりをさせていただいた団体もありました。また、冬山へのハイキングや館内でのクラフト活動やフォトビンゴなど、他のプログラムに変更して楽しんでいただいた団体もありました。この冬の目玉のプログラムを提供できないジレンマもありましたが、ご利用いただいた皆様にあらためて感謝を申し上げます。凶らずも自然のもたらす影響の大きさを実感することになってしまいましたが、本所では、今後とも自然体験活動のおもしろさやすばらしを味わえるようなプログラムの提供に努めてまいりますので、引き続きご利用くださいますようお願いいたします。

第2回親子でチャレンジ



2月1日(土)～2日(日)に「第2回親子でチャレンジ」を開催しました。今回、準備したプログラムは、親子一緒にチャレンジとしてマイスプーン作り、スノーチューブすべり、スノーキャンドル作り、スノーハイキング、もちつき体験、親子別のチャレンジとして親が「ピーフシチューポットパイ」作り、子どもが「とろけるスノープリン」作りでした。雪不足のためプログラムの変更も考えておりましたが、前日に恵みの雪があり、特別コースでのチューブすべりもなんとかできました。

この度は、置賜管内から8組のご家族に参加いただきました。雪の少ない飯豊の冬ではありましたが、家族のふれあいはもちろん、参加者同士の交流も深めていただくことができたと思っております。様々なチャレンジは、この冬、親子で創りあげた素敵な思い出と自信になったことでしょう。



いいでワイルド&アドベンチャー

冬の冒険隊2020

2月15日(土)～16日(日)、いいでワイルド&アドベンチャー事業の締めくくりとなる「冬の冒険隊」を実施しました。

少ない雪ではありましたが、「いいでシゼンピック2020」と称しての雪上でのゲーム(宝探し&逃走中)やスノーハイキング、銀マットを使っての雪すべりを楽しむことができました。特に、銀マットを使っての雪すべりは、雪の残っている斜面を利用した苦肉の策?ではあったものの、子どもたちの歓声がいいでの森に響き渡っていました。また、アイスクリームや芋煮作り、さらには餅つき体験にも挑戦し、満足した顔で美味しそうに食べる様子も見ることができました。

今回は、雪不足のため特別な冬の冒険隊となりましたが、それぞれが様々な活動に挑戦し、新しい仲間たちとの交流を深めた中身の濃い2日間となりました。最後にスタッフの皆さんと笑顔でハイタッチを交わして帰っていく子どもたちの様子を見られることは何よりもうれしいことです。次年度も、ここでしかできない体験と感動を味わってもらえるよう準備して、多くの子どもたちの参加をお待ちしております。



〈アイスクリーム作り〉



〈おもち入り芋煮〉



〈スノーハイキング〉



〈銀マットで雪すべり〉

～運営懇談会より～

毎年、年度末に所の運営について様々な立場の方々より協議をいただく場として「運営懇談会」を開催しております。今年度は2月18日(火)に下記の皆様にお集まりいただき、運営報告と次年度の方針や計画等をお伝えしてご意見等をいただきました。自然体験活動の大切さや本所ならではの取り組みの一層の充実について、それぞれのお立場から貴重なご意見を頂戴しました。次年度も、各種事業のさらなる充実と利用者の拡充にむけて所員一同、努めてまいります。

〈ご出席いただいた委員の皆様〉 ※ 敬称は省略させていただきます。()内は代表になられている団体名又は職名。
大竹仁(西置賜地区校長会)、安藤淳(東置賜地区小中連合校長会)、柴崎浩(置賜農業高等学校長)、熊野昌昭(飯豊町教育委員会教育長)、小野庄士(川西町教育委員会教育長)、安部一博(置賜教育事務所社会教育課長)、遠藤和芳(飯豊町東部地区公民館長)、安部郁子(豊田児童センター園長)、藤戸孝司(興道東部保育園長)、石井剛(山形新聞長井支社長) 以上

ご利用ありがとうございました!

皆様には、変わらぬご愛顧を賜り、お陰をもちまして無事に今年度の営業の締め括りを迎えております。「ときめき体験 あらゆる感動!」のスローガンの下、ご利用いただいた皆様には、自然体験を柱に集団宿泊体験や交流活動に取り組んでいただきました。そして、多くの皆様より、「楽しかった」「また来ます」など、温かい声をたくさんいただきました。また、指定管理者による生涯学習講座については、様々な年齢層の皆様にご受講していただきました。ご利用いただいた多くの皆様にご心より感謝申し上げます。来年度も、豊かな学びと感動のある事業を各種準備して、皆様のお越しをお待ちしております。

また、ホームリーダーの皆様、置賜農業高校をはじめとした高校生ボランティアの皆様には、お忙しい中、本所の事業運営や維持管理にご支援ご協力をいただきました。改めて感謝申し上げます。来年度も変わらぬお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

